

## 企業等の総務・広報・CSR 関連部署の皆様へ

本リーフレットにご関心をお持ちいただき、誠にありがとうございます。

国土交通省では、個々人の健康増進や企業・組織イメージの向上、渋滞緩和、地球温暖化防止等のさまざまな観点から、過度なマイカー通勤を抑制し、鉄道やバス、自転車や徒歩などで通勤を行う『エコ通勤』の普及啓発を進めています。エコ通勤のメリットや、エコ通勤優良事業所認証制度についてまとめた本リーフレットを、ぜひ、導入のご検討にお役立てください。

なお、2020年春以来の新型コロナウイルス感染症により、皆様の足を支える公共交通はかつてない厳しい状況下にあります。本紙裏面には参考資料として、公共交通と新型コロナウイルス感染症に関する各種情報を掲載しました。こちらもご参照いただきつつ、エコ通勤の導入・普及のご検討をお願いできればと存じます。

令和3年1月

国土交通省 総合政策局 地域交通課  
公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団



国土交通省

### 国土交通省 総合政策局 地域交通課

エコ通勤ポータルサイト:

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei\\_transport\\_tk\\_000073.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000073.html)



交通エコロジー・モビリティ財団

### 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 交通環境対策部

エコ通勤優良事業所認証制度のご紹介:

[http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters\\_top.html](http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html)



# 今日の『エコ通勤』推進が、 明日の公共交通を支えます。

コロナ禍において、私たちの足となる公共交通はかつてない厳しい状況に置かれています。『エコ通勤』の推進は、公共交通の現在や未来を支えるという、新たな役割も担っています。

## 公共交通は、感染リスクが心配？



日本モビリティ・マネジメント会議  
安全な公共交通の乗り方  
(COVID-19 特設ページ)  
<https://www.jcomm.or.jp/covid19/>

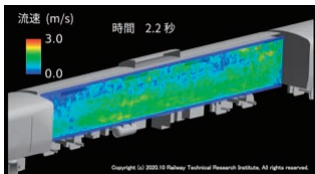


2021年1月現在、電車・路線バスにおいてクラスターの発生は確認されていません。マスク着用、時差出勤、目や鼻・口を触らないなどの安全対策によって、より安心して公共交通をご利用いただけます。

出典：国立感染症研究所「クラスター事例集」

>> 電車・バスでのクラスター発生は  
これまで確認されていません。

## 鉄道・バス事業者のコロナ対策は？



主な鉄道会社のすべてが、換気や定期的な消毒といった感染症対策を実施しています

※日本民営鉄道協会に加盟している大手16社全てで感染症対策を実施  
出典：JR東日本(<https://www.jreast.co.jp/stylingthenew/actions/>)

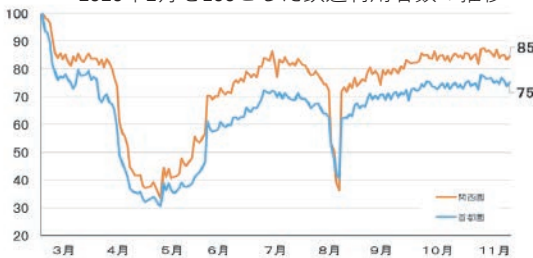
鉄道・バス事業者各社では、感染拡大予防ガイドラインにもとづく感染症対策を日々実施しています。左は、入念なシミュレーションによる換気対策の検証や、定期的な消毒の励行の様子です。

出典：国土交通省 (<https://www.mlit.go.jp/tetudo/content/001350648.pdf>) 左図を含む

>> 公共交通では、入念な研究・検討にもとづく感染症対策が行われています。

## コロナ禍で、公共交通が消える？

<2020年2月を100とした鉄道利用者数の推移>



※JR・大手民鉄の主なターミナル駅における自動改札出場者数より算定  
出典：国土交通省鉄道局

上記の取り組みにも関わらず、ある調査では、全国の鉄道・バス事業者の9割が30%以上の売上減となっており、この状況が続けば、2021年度末には半数の事業者が「事業を続けられなくなる」と回答しています。

出典：一般財団法人地域公共交通総合研究所

>> コロナ危機にある公共交通。  
『エコ通勤』が、強力なサポートに。

無理のない範囲で、『エコ通勤』への取り組みをご検討ください。



電車



バス



自転車



徒歩



時差通勤



テレワーク

時差通勤や  
テレワークなども  
『エコ通勤』の  
ひとつです。